

「習志野文化ホール再建設基本構想案」に対する
 第2回再建設基本構想等検討専門委員会からの意見（要旨）と対応（事後書面提出意見含む）

No.	章節 (ページ)	質問及び指摘事項概要 (事後書面提出含む)	委員名	指摘事項への対応
[ホールの理念特徴]				
33	P4	音の響きを重視した多目的ホールは 変えていただきたくない。	三戸委員	「2. 基礎的條件の整理 (1) ホールの理念・特徴」を新たに項目立てし、ホールの特徴として「多目的ホールとする中でも、これまでに於いて多くの方に高い評価をいただいている「音の響きを重視した」ホールとする。」ことを記載します。
34	P4	音楽に特化したというよりも、十分音響等を考えた上で設計をした多目的ホールとしていただければいいと思う。	玉浦委員	同上。
35	P4	千葉市が、1,500席で駅近で再建設するということとなり、もし、習志野市がそのままの場所にまた新たに同じ規模で造るとなると、やはり興行の部分で競合する事になると思う。 習志野文化ホールは市民利用中心というように考えると、より特徴のある、音楽のまちというものを前面に出すことは、差別化という意味で大変重要なのではないかなと思う。	玉浦委員	同上。

No.	章節 (ページ)	質問及び指摘事項概要 (事後書面提出含む)	委員名	指摘事項への対応
36	P4	<p>音楽のまち習志野とうたわれているが、聴く、または経験するだけではなく、実際に自分が活動するということも含めて、音楽に対して、また芸術に対して親しみがわくのではないかなと思う。そのところは幼い頃から子どもたちが受けているものなので、今後も大切にしていっていただきたいと考えている。</p>	横平委員	<p>「2. 基礎的條件の整理 (1) ホールの理念・特徴」を新たに項目立てし、本市の考え方として「市民生活を豊かにする、音楽をはじめとした演劇、舞踊、邦楽など、演じる、観るといった、市民の多様な文化芸術活動を支える多目的機能を備えた、誰もが利用しやすい活動の拠点及び交流の場」という設置理念を記載します。</p>
37	P4	<p>千葉市はそれぞれの区のホールで生徒の登壇が可能であり、習志野文化ホールとは大きな違いがあると思う。</p> <p>市民利用というものが重要視されていくべきであり、千葉市民会館との規模の面とか似通った面があっても大きな差別化となる。</p> <p>千葉市内の全小中学生が千葉市民会館に登壇するというのは、実質不可能だと思うので、そこは千葉市と習志野市の特徴が変わるのかと思う。</p>	吉田副委員長	<p>「2. 基礎的條件の整理 (1) ホールの理念・特徴」を新たに項目立てし、「市民生活を豊かにする、音楽をはじめとした演劇、舞踊、邦楽など、演じる、観るといった、市民の多様な文化芸術活動を支える多目的機能を備えた、誰もが利用しやすい活動の拠点及び交流の場」を設置理念として記載しました。</p>

No.	章節 (ページ)	質問及び指摘事項概要 (事後書面提出含む)	委員名	指摘事項への対応
[バリアフリー化]				
38	P9	駅前といっても、近くて遠いと言われ、段差もあり、そこに辿り着くまでに疲れてしまうということは聞いている。これからのバリアフリーの検討において改善し、駅前を維持してほしい。	三戸委員	「3. 施設計画の検討 (2) 課題の解消・改善 ア. バリアフリー化等、誰もが使いやすい施設のあり方」に記載します。
39	P9	バリアフリーについて、車椅子の方の動線や、トイレの位置、付き添いの方の席など不便を感じている。	横平委員	「3. 施設計画 (2) 課題の解消・改善 ア. バリアフリー化等、誰もが使いやすい施設のあり方」に「また、車いすの利用者のトイレまでの動線等についても併せて検討していきます。」を記載しました。
[座席数等]				
40	P9	座席数について、市民団体が利用した場合に、その1,500席が全部、常に使えるかという、また違って来るかなと思う。例えば、1階だけで900席とか1,000席、2階が600席とか500席にして、下だけを使った場合料金も変わる、使用料金も変わるという方向だともっと利用者があると思う。	三戸委員	座席形状については、音の響きを重視する中で、2階席を設けた場合に音の響きが悪い席が生まれること、天井が高くなり空調等のランニングコストにも差が出ることから、「3. 施設計画の検討 (2) 課題の解消・改善 ウ. 座席の改善」に現状と同程度のワンスロープとする旨記載しています。 ご意見を踏まえ、P6 (5) 基本方針において「約1,500席」という総席数について「1,200~1,500席規模の」と幅を持たせた記載に修正し、第3回会議においても引き続き検討いただきます。

No.	章節 (ページ)	質問及び指摘事項概要 (事後書面提出含む)	委員名	指摘事項への対応
41	P10	ワンスロープの場合は、エレベーターが必要ないとあるが、今の文化ホールも一番上の6階に行くためには、やはり外から上がるには階段を幾つも上らなくてはいけないので、ワンスロープであっても、エレベーターは、必要だと思う。	三戸委員	ホールとホワイエ・ロビーの形状にもよりますが、ワンスロープについても後方席へ上がる際にはEV等が必要となります。しかしながら、2階席を設ける場合は、停止階の増加や、輸送対象人数が増えることによりEV等の設備が増加する可能性が有ること、2階席用のホワイエや通路の整備などが必要となることから、ワンスロープのメリットとして「共用部やEV等の設備が圧縮され工事費を抑えられる可能性が有る」と記載しています。
[搬入出口の改善]				
42	P11	11tトラックの搬入口については、1台分で良いのではないかと。	玉浦委員	「3. 施設計画の検討(2) 課題の解消・改善 エ. 搬入出口の改善」12行目及び、「(6) 引き続き検討が必要な事項 サ. 駐車場(団体客・利用者用) 14行目を「11tトラックを止め置けるスペースを確保すること。」に修正しました。
43	P11	駅前のバスベイがパンク状態であることから、再開発の中で、やはり文化ホールの大型トラックが置けるようなスペースを作っていく必要があると考える。	高橋委員	同上。
[ステージ形式]				
44	P16	他のホールと差別化を図るためにも、特徴が重要と考えている。ステージの形式についても検討してはどうか。	佐藤委員	「3. 施設計画の検討(6) 引き続き検討が必要な事項」に「ア. ステージ形式」を項目立てし、別途比較資料を作成しました。第3回会議で検討いただきます。

No.	章節 (ページ)	質問及び指摘事項概要 (事後書面提出含む)	委員名	指摘事項への対応
45	P16	基本理念の中に、音の響きを重視したということがあったので、そういったことを大切にしたワンスロープで検討していただきたい	横平委員	同上。
46	P16	席数が一緒でも、特徴があればそちらの方が大事ではないか。多目的利用なのだが、ちょっと音楽ホールっぽいものというのも、可能性があるのかなと思った。中間的にアリーナ型で、ワンスロープではなく2階席もあって、庇もあまり出ていなくて、ただし公演などで使うときには、幕を垂らすとかでうまく処理している例もあるだろう。	佐藤委員	同上。
47	P16	数は少ないかもしれないが、ホールで和のものも、公演があると思う。その時にオープンステージはなかなか難しいのかなと思う。そういった面ではプロセニウム型でとは思う。	三戸委員	同上。
48	P16	基本構想を作る段階で、和の公演についてのご意見も検討事項として入れておいていただければと思う。	広田委員長	同上。

No.	章節 (ページ)	質問及び指摘事項概要 (事後書面提出含む)	委員名	指摘事項への対応
[パイプオルガン]				
49	P16	(パイプオルガンについて、) 象徴するものであるという思いがあることは理解しているが、逆に、県内で、決して大きくない地方公共団体の習志野市が、今後継続的に、保有していくべきものなのかどうかという財政面では問題視している。結局、その負担が残るのは未来の世代の子たちや、今から産まれてくる子どもたちなので、その世代に負担を合わせるかという視点も重要なのかと思う。	吉田副委員長	「3. 施設計画の検討 (6) 引き続き検討が必要な事項 イ.パイプオルガン」の下から2行目に「再設置については、将来世代の負担も含めた継続的な保有に係る、財政面からの検討を要すること、特に」の記述を加えました。
50	P16	パイプオルガンについては費用の面があるので、いろいろ懸念されることは承知なのだが、やはりシンボルであるとか、小さい頃からというところから、今まであったものが無くなってしまふ寂しさはある。これはまた検討事項かと思う。	横平委員	同上。

No.	章節 (ページ)	質問及び指摘事項概要 (事後書面提出含む)	委員名	指摘事項への対応
[オーケストラピット]				
51	P18	オーケストラピット自体がピットという趣旨で使われていないのであれば、もともとの舞台のスペースを、広くしないといけないのではないかと思う。	玉浦委員	「3. 施設計画の検討 (6) 引き続き検討が必要な事項 オ. オーケストラピット」において、直近5年間で本来の目的での使用がないこと、イニシャル・ランニングコストを鑑み、新ホールには設置しないこととしています。なお、舞台そのものの拡張について、検討していきます。
[ホワイエ]				
52	P18	舞台・ホワイエを使って市民文化祭として催し物をする。いろいろな団体が展示したり、華道や陶芸、絵画を展示しているので、ホワイエも、できたら今の規模で、保てたらと思う。	三戸委員	「3. 施設計画の変更 (6) 引き続き検討が必要な事項 カ. ホワイエ」に「過度に面積を縮小すると用をなさなくなる可能性が有ります」と記載しており、引き続き検討を行います。
[美術品等]				
53	P19	美術品について、思い出はあるであろうが、状態等を鑑定し、残すかどうか判断が必要ではないか。	吉田副委員長	「3. 施設計画の検討 (6) 引き続き検討が必要な事項 ク. 美術品等」において「移設が可能か状態の調査を行い、可否を判断する必要があります。」と記載しました。

No.	章節 (ページ)	質問及び指摘事項概要 (事後書面提出含む)	委員名	指摘事項への対応
[敷地候補地]				
54	P21	旧庁舎跡地でのホールの単独所有については検討されたのか。現状、いろいろ問題があるという部分が多い。その問題を解決するには新しい土地の方がいいということもあるのかなと思う。	伊藤委員	「4. 敷地候補地の検討」において①JR 津田沼駅南口と②旧庁舎跡地の比較検討を記載しました。第3回会議において引き続きご検討いただきます。
55	P21	旧庁舎跡地を候補とする場合、京成線の開かずの踏切や踏切をどのように跨ぐかという街路整備など、周辺環境整備は、できないものがいっぱいある。	高橋委員	ご指摘のように、現状においては京成津田沼駅横や市役所前の大踏切などの周辺道路における課題があります。その一方で、現在整備中である都市計画道路3・3・3号藤崎茜浜線が開通すると、習志野警察署前から市役所通りが橋梁で結ばれることから、この課題が軽減されることを期待しています。
56	P21	建設当時、相当の覚悟で、私どもも通った第一中学校を600m西側に移設して、文化ホールを造るために開発をやった。 その理念は素晴らしいと思う。ただ、限られた資産であり、この資産の有効価値をどうあるべきかということで、有効活用するための施設になって欲しい。	高橋委員	「4. 敷地候補地の検討」において①JR 津田沼駅南口と②旧庁舎跡地の比較検討を記載しました。第3回会議において引き続きご検討いただきます。

No.	章節 (ページ)	質問及び指摘事項概要 (事後書面提出含む)	委員名	指摘事項への対応
57	P21	<p>搬入とバリアフリーを考えると、地面から直接行けるといふところは、メリットが高いのかと思う。どうしても4階5階と上に上がってしまうと、そのたびに、エレベーターで昇ったり下りたりといったことになってしまうので、そういった意味で、ワンフロアで荷物を運べたり、人も動けるといふのは、大きなメリットではないかと考える。</p>	吉田副委員長	<p>「4. 敷地候補地の検討」において①JR 津田沼駅南口と②旧庁舎跡地の比較検討を記載しました。第3回会議において引き続きご検討いただきます。</p>
58	-	<p>現在の文化ホールを整備する際に、土地を譲ってくれた方のお気持ちについてだが、話し合せて中学校が移転して、そこを全部商業施設にしてしまっているのかどうかということであり、こういうことは結構揉める。</p>	伊藤委員	<p>第一中学校移転先として、当時、22者から土地を買収し、元からの市有地330.72㎡(3筆)を加え、19,052.4㎡(64筆)を確保しております。その後も、複数回にわたり用地拡張を行い、現在の敷地となっています。</p>
59	-	<p>旧庁舎跡地の検討については、旧庁舎跡地活用検討委員会で、立地についても詳細に確認したので、事前に委員会メンバーの皆様へ報告書をお目通しいただき、報告書からバージョンアップする必要があるところは事務局に変えていただきながら、本委員会の資料として参考にしていただくと、道路の計画についてもしっかりと記載しているので、皆さんが同じ土俵で話ができるのではないかなと思う。</p>	吉田副委員長	<p>各委員に第2回会議録と併せ、「旧庁舎跡地活用に関する検討報告書」を配布し、検討の参考としていただくこととしました。</p>

